

平成22年度日本小児外科学会
第1回定例理事会議事録

日 時：平成22年6月19日（土） 12:00～13:00

会 場：愛知県産業労働センター 13階 1310

出席者：岩中 督（理事長）、田口智章（副理事長）、橋本 俊（理事・会長）、土岐 彰（理事・副会長）、上野 滋、濱田吉則、葦澤融司、前田貢作（以上理事）、伊川廣道、金子道夫、林 富（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、小室広昭（庶務委員長）、越永従道（財務会計副委員長）、原普二夫（庶務委員）、佐々木真紀、村上 聡（事務局）

議事

1. 第1回定例理事会の議事録署名人は、葦澤理事、田口理事とした。

2. 報告事項

1) 第47回学術集会について

橋本会長の代理として原庶務委員より、現時点での参加者は有料参加者数809名、招待参加者数59名、合計868名であり、演題557題（演者病欠のため取消し1題）であることが報告された。また、サテライト・シンポジウム参加者数は125名、この後に開催される卒後教育セミナーの申込者数96名となっている。

2) 専門医制度両委員長及び庶務委員について

岩中理事長より、平成22年度の新施設認定委員長は仁尾正記評議員、専門医認定委員長は黒岩 実評議員に決定したことが報告され、承認された。

3) その他

岩中理事長より、評議員会において過去10年間程度の長期的な財政状況の把握が必要であるとのご意見があったことが報告され、次回理事会にて検討することとなった。

また、PSIの購入について、オンライン化するかどうか、全会員へのオンライン配布を実施するかどうかについて結論付けるための議論が必要であることが指摘され、次回理事会にて機関誌委員会の最終案に基づいて検討することとなった。

3. 審議事項

1) 第48回学術集会について

土岐副会長より以下の通り報告され、承認された。

日 時：2011年7月20日（水）～22日（金）

会 場：TFT（東京ファッションタウンビル）

主 題：こどもは未来への架け橋 (Children: Bridge into the future)

特別講演：アグネス・チャン (ユニセフ大使)

島田先生 (ロサンゼルス子ども病院)

特別発言：「小児外科医のライフ・ワーク・バランス」

「台湾の小児外科の現状」

特別企画：アジア各国からの代表者による国際セッション

「先達に聞く (仮)」(平井先生、水田先生、遠藤先生など)

「最先端の画像診断」(企業の研究者)

2) 第 49 会学術集会について

上野理事より以下の通り報告され、承認された。

日 時：2012 年 5 月 14 日 (土) ～16 日 (月) (予定)

会 場：パンフィコ横浜 (神奈川)

企画等プログラムについては、企画中である。

3) 新庶務委員について

新会長付庶務委員として鈴木 淳一評議員が推薦され、承認された。

4) 対外委員について

WOFAPS の担当委員について、現委員の北川博昭委員長が Asia 代表として立候補しているため、正式に選出された場合には岩中担当理事が担当委員となることを持ち回り理事会で決定したことが確認された。

5) 平成 22 年度定例理事会日程について

次回以降の理事会日程を確認し、以下のように決定した。

第 2 回	平成 22 年 7 月 23 日 (金)	11:00～17:00
第 3 回	平成 22 年 9 月 17 日 (金)	11:00～17:00
第 4 回	平成 22 年 11 月 18 日 (木)	13:00～17:00
第 5 回	平成 23 年 2 月 18 日 (金)	11:00～17:00
第 6 回	平成 23 年 5 月 13 日 (金)	11:00～17:00
第 7 回	平成 23 年 7 月 19 日 (火)	10:00～14:00

(予定)

4) その他

上野理事より機関誌の抄録号について、来年度学術総会が例年より遅い 7 月に予定されているため、方策が必要であるとの指摘があった。機関誌委員会からは、抄録号をサプリメントとして発刊することが提案されたが、検討の結果、投稿規程を変更し、総会号の号を学術総会の時期に併せて変更することとなった。

また、2011 年度の PALS 講習会の実施について検討すべきとの指摘があり、第 2 回理

事会の審議事項とすることとなった。

また、小児救急委員会のアンケート調査への回答を専門医制度の年次報告書の要件とすることについても、具体的な提案は次回以降の理事会でなされることとなった。

専門医制度委員会規約について、評議員会に提出されたものに齟齬があったので、正式なものを作成する必要がある指摘され、次回理事会までに田口副理事長、池田前専門医認定委員長、出口前施設認定委員長、黒田専門医精度庶務委員長により確認されたものを、専門医制度委員会で確認することとなった。次回理事会開催までに各理事会出席メンバーに回覧することが確認された。

以上

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____